

# Copilot新機能「Critique」 & 「Council」：知財実務への革新的インパクトと実装の要諦

## 構造的欠陥の克服：マルチモデル・アプローチ

Critique  
(徹底したピアレビュー)

Council (複数視点の可視化)



GPT  
(生成)



Claude  
(専門査読者)



GPT  
(生成)



Claude  
(専門査読者)



Council  
(構図根拠の可視化)



総合モデル  
(カバーレター生成)

AIの「自己評価のジレンマ」を根本から解決

徹底したピアレビュー機能：GPTがドラフトを作成し、Claudeが「専門査読者」として、特許課題の信頼性・網羅性・エビデンスの裏付けを厳格に検証します。

複数視点の可視化：同一の問いに対しGPTとClaudeが対列で回答。第3のモデルが成方を比較し、含意点・相違点・独自洞察をまとめた「カバーレター」を生成します。

## DRACOベンチマークによる性能実証

総合スコアで **+13.88%** の性能向上を達成

総合スコア (Aggregated) **+7.00** (向上スコア) **+13.88%** (全体向上率)

深層調査の精度を測るDRACOベンチマークにおいて、従来の最高性能 (Perplexity Deep Research) を大きく上回るスコアを記録しました。

総合スコア (Aggregated)

分析の幅と深さ (Breadth & Depth)

**+3.33**

包括的な縦向分析と代替案の比較検討が可能に

プレゼンテーション品質 (Presentation)

**+3.04**

専門用語や標準化フォーマットの正確性が向上

事実の正確性 (Factual Accuracy)

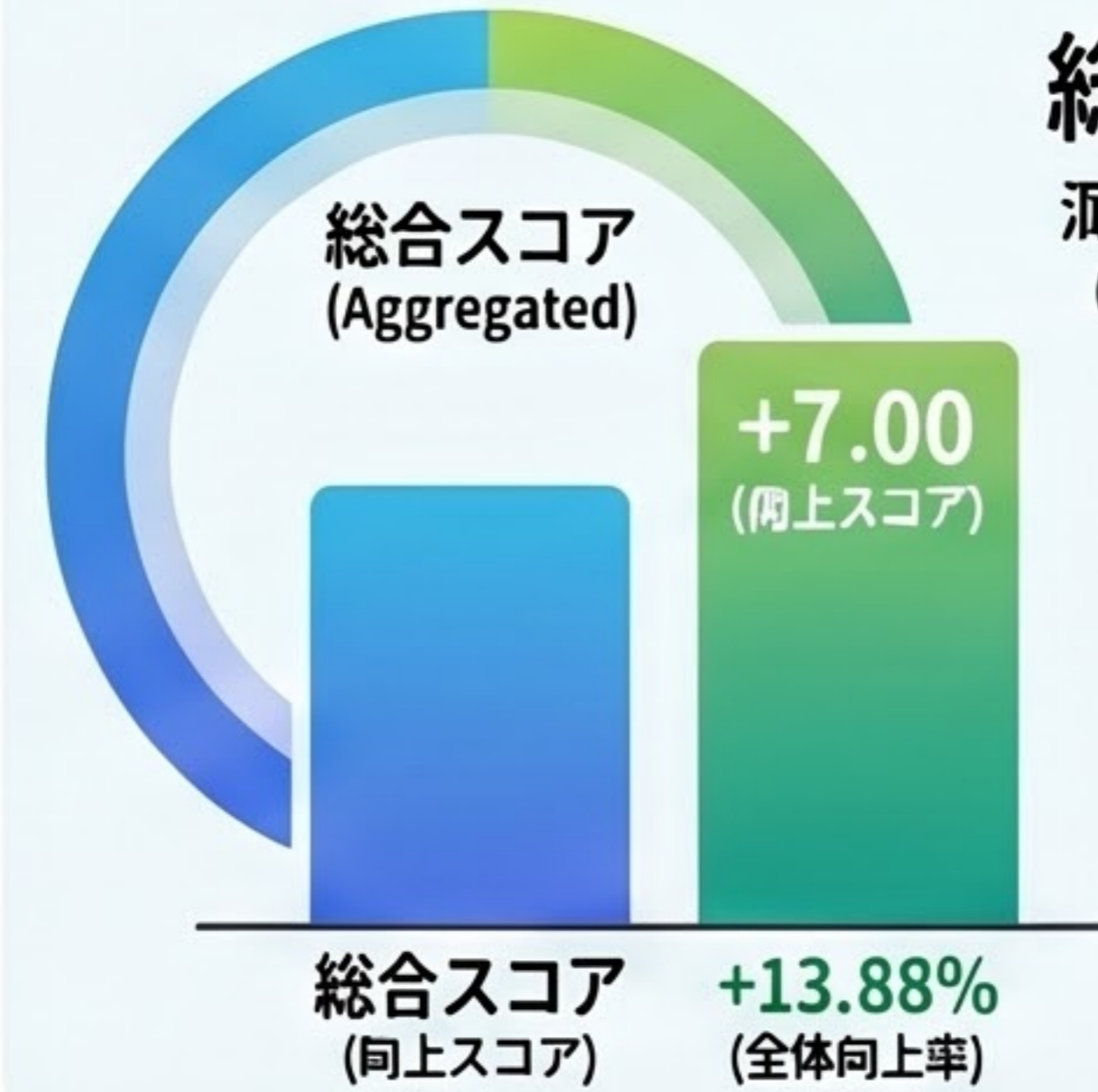
**+2.58**

特許番号や日付など致命的エラーの削減

## DRACOベンチマークによる性能実証

総合スコアで **+13.88%** の性能向上を達成

深層調査の精度を測るDRACOベンチマークにおいて、従来の最高性能 (Perplexity Deep Research) を大きく上回るスコアを記録しました。



プレゼンテーション品質 (Presentation)



専門用語や標準化フォーマットの正確性が向上

事実の正確性 (Factual Accuracy)



特許番号や日付など致命的エラーの削減

## 知財業務のライフサイクルへのインパクト



先行技術調査・無効資料調査の効率化  
Critiqueが「存在しない特許の従属」を鑑別し、Councilが特許権維持権に対する権利縮小を提示することで、濫用も権限行使を支援します。

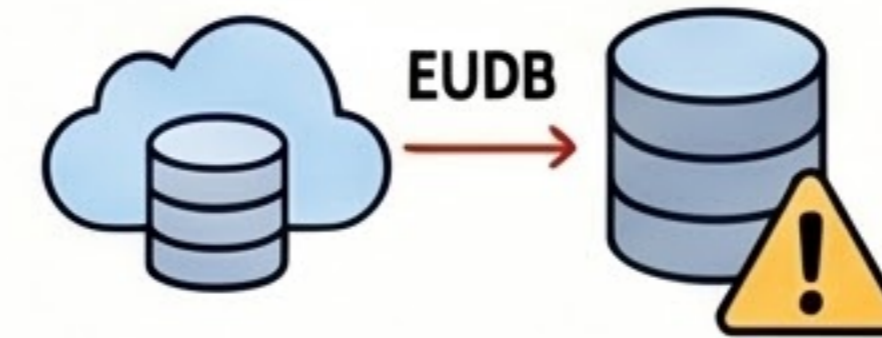


特許明細書作成における「ドキュメント制構」の高効率化  
AIによる修正を「変更履歴 (Track Changes)」として可視化。Wordと連携し、特許事項追加のリスクを抑えつつ精密な修正が可能です。



自律型エージェント「Copilot Cowork」  
Work IQを通じた社内データの参照により、メールや実績データに基いた特許書切稿の生成を安易に行えます。

## リスク管理と戦略的提言



致命的リスク:「EUデータ境界 (EADB)」  
Claudeモデルを使用する際、データはEU圏外 (米等) で処理されるため、グローバル企業は適切なデータ保護影響評価 (DPIA) が必須です。



使用制限とフォーマットの課題  
Premiumプランでも月30回のクォータ制限があるほか、Word出力時にフォーマット崩れが生じる場合があり、人間による調整が不可欠です。



「魔法ではなく、漸進的な改善である」  
専門家は、AIを寄託せず、最終的な責任を負う「Human-In-the-loop (人間の作入)」を維持することの重要性を強調しています。